



岩田とも子

県議会レポート



発行所/〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先/立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

執務室での岩田智子です

ご挨拶

9月定例会が終わりました。

定例会が始まる直前、熊本県議会議員が甲子園球場アルプス席で喫煙飲酒をしたことがわかり、非常に腹立たしく思いました。

国葬問題もありました。旧統一教会の問題が明るみになって、政治の中に深く入り込んでいる事実もわかってきました。名義後援をしていた県や県教委、県議会議員の関わりも報道されました。しかし、それがどのような影響を受けてきたのかを検証しない限り、「これからは関わりません。」では変わらないのではと思います。

このように、問題ははっきりしているにもかかわらず、何も変わらない状況が続く毎日。コロナ感染拡大防止の毎日と合わせ、なんとかしなければと強く思っています。

素晴らしいニュースがあります。2022年度2学期から、熊本県の学校用給食パンを国産小麦粉100%で提供するようになります。これまで、熊本県産10%外国産90%だった小麦粉を熊本県産70%北海道産30%の小麦粉を使ったパンになります。熊本県学校給食会、熊本県パン協同組合、熊本製粉株式会社の3者にて協議・試作を重ねてこられ、実現となりました。

また、くまもと女性議員の会で申し入れをした、県立学校での生理用品のトイレ配置も進んでいます。

学生インターン4人が議会傍聴を続けました。初めての議会傍聴で政治にふれ、議員がそれぞれ、課題をとらえ、提言していくことで、地方行政が進んでいることを実感したようです。学生インターンは、今回も全員女性でした。

9月定例会 報告

〈一般会計予算〉

9月補正予算は、113億円の増額補正です。

概要は、新型コロナウイルス感染症対策や今年の大雨被害からの復旧事業、赤潮被害にあった養殖業者への支援です。

現計予算と合算すると、9383億円となりました。

議会で審議されたものや気になったこと

今回、私たちの会派がずっと取り組んでいる「持続可能な社会の実現に寄与する公契約条例」が制定さ

れました。理念条例ですが、しっかりその理念を貫いてほしいです。

建築家 安藤忠雄さんが設計施工をし、こども図書館を県に寄贈されることになり、設置準備の予算も組まれました。県立図書館の敷地内に作られる予定です。

議会質問では「緑の流域治水」と球磨川水系河川整備計画について、検証と流水型ダム建設の費用対効果を会派代表質問で西議員が尋ねましたが、知事は改めて検証は行わない。ダムを推進していく、ダムを最大限活用すると答弁しました。また、会派で質問を

続けている水俣病問題については、国に対し加速化を求めるとこれまでと同じ答弁でした。

「誰一人、取り残さない」「50年後100年後の発展の礎とする」「新たな宝をつくる」は知事がよく使う言葉です。取り残される水俣病患者の方々、ダム建設による水産資源の消失など、次世代に負の宝とならないような検証や調査は時間がかかっても行っていくべきです。

また、空港アクセス鉄道ルート調査に関して、TSMC建設の影響をいれることや、乗り換えをしない等で、これまでの三里木～運動公園～空港よりも、大津～空港とした方が費用対効果が高いと報告され、知事は新ルートでの実現を考えているようです。しかし、需要予想のベースとなっているのが30年後の航空利用者数622万人という数ですが、過大すぎではないかという意見やそもそもの運動公園へアクセスはどうするのかという意見、高規格道路の計画もあることなど、400億円を超える事業の議論はこれからです。



岩田とも子の 政治活動

facebook
やっています!



くまもと女性議員の会で、女性の政治参画について話をしました。このあと、教育長に県立高校への生理用品のトイレ設置を要望しました。



今回の学生インターンに県議会の施設や仕組みについて説明をしているところです。奥に見えるのは議会図書館。これまでの議事録など見ることができます。



学生たちと相良村で開かれた「ダムの押し付けを許すな」シンポジウムに参加し、住民の皆さんの声を聞きました。球磨川下りの発船場から球磨川を見ているところです。



街頭での訴え

採択された意見書

- 食料安全保障の強化及び燃油・肥料・飼料等生産資材価格高騰対策の拡充に関する意見書
- 障害を通じた国民皆歯科検診の実現を求める意見書
- 我が国の経済安全保障に関わる台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）への加入に向けた積極的な支援を求める意見書

SDGs 指標4

「質の高い教育をみんなに」

熊本県立夜間中学設置へ

2024年 湧心館高校内に開校予定です。熊本地震の時に建てられた木造の応急仮設住宅の資材を使って建設予定です。7月に設置基本方針が作成され、相談窓口も設置されました<https://www.pref.ku-mamoto.jp/site/kyouiku/150023.html>他言語対応です。一人ひとりの学びに繋がる学校にさせていただきたいと思っていますので、検討委員会などを注視していきます。



障害者の自立と政治参加を進めるネットワークのリモート全国大会。国会議員の横澤たかのりさんや天皇大輔さんからの国会報告もありました。